

# 議会 だより

No.  
**154**



昨年度事業で校庭芝生化に取り組んだ三根小学校。  
5月14日には「校庭開き」が行われた。

## 町議会3月定例会

- 2 3月定例会
- 4 主な議決事項
- 5 一般質問
- 11 視察報告
- 12 本会議の質疑から



## 第一回八丈町定例議会開催

3月5日、25日、26日、29日、30日の5日間、第一回定例会が開催されました。初日に町長が施政方針を述べ、一般質問では、5名の議員が登壇しました。



3月定例議会の様子

## せまられた議会の判断

### ——水道料金の値上げ、バス事業改革

3月定例会は1年間の予算を審議する大切な議会です。汚泥再生処理センター、保育園、野球場、管理型最終処分場、庁舎など、これから2〜3年で整備される大型公共工事が次々と始まっています。その分、予算総額は通常より2割以上増えています。増額分の多くは起債と基金の取り崩しによるもので、補助金の増額はあ

るものの厳しい財政事情に変わりはありません。人口が減り観光客が減るなかで、島の経済をどう立て直していくのか、無駄はないのかなどについて、議会は町の姿勢を質しました。なかでも、景気が低迷している時期の水道料金の値上げには議論が集中しました。バス事業についても一歩踏み込んだ提言ができたと思います。

### 水道料金11・6%値上げを了承

値上げを望む人はいませんが、このままでは町の財政を

ました。

圧迫します。町は一般会計から補助金という形で水道会計の赤字を埋め、均衡予算を組んできたからです。議会は執行部の値上げ提案をやむを得ず了承しましたが、これまでの経過への不満や値上げの影響を懸念する意見が飛び交い

▽漁業、農業に多大の影響あり。産業全般にも及ぶのでなんらかの措置必要。(博文)  
▽一気に上げるより、こまめに上げるべき。住宅があれば給水管工事をしてきたが、給水区域を指定する必要がある。建築確認申請の際、町の実態を説明すべき。(土屋)

▽やるべきは人件費を含めて節約あるのみ。水利用計画を考え節水につなげよ。(六郎)  
▽不納欠損処理をきちんとすべき。欠損があるのに積み立てているのが矛盾。(英治)  
▽各常任委員会にかけて検討すべきだった。丁寧な住民への周知が必要。(致行)  
これに対し町は、経営悪化の原因は①2つの大型ホテルの倒産②大口消費者だった業者が相次いで敷地内に井



戸を掘り使用量が減ったことにあるとし、経費節減だけでは赤字を埋められないことを主張。また、水利用計画を見た。直し、縮小するためのモデルを考える「水道ビジョン」を計画していると答弁しました。

### バス事業特別委員会 (一般旅客自動車運送事業検討特別委員会)

#### 報告

膨らむ一方の赤字に苦慮するバス事業。町の努力では目に見える成果は得られなかったことから、あらためて議員からの提言が必要と考えました。ベテラン議員8名で組織された特別委員会は平成21年3月から22年3月まで7回の会議がもたれました。報告書の趣旨、提言は以下のようにまとめられます。

- 1、路線バスは将来民間委託とし、マイクロバスなど中・小型車両で効率的な運行を。
- 2、貸切バスは大型客船入港時の観光利用や冠婚葬祭での利用があるため、当面維持するが、民

間委託を進めていく。

- 3、通学時の送迎や医療機関への福祉移送などは、関係各部署と責任と役割を分担する。
- 4、町長の送迎にはタクシーを利用し、一層の経費削減をはかる。
- 5、財政負担の大きい公営企業管理者制度は廃止する。これに対し町長は、公営企業管理者制度廃止の提言については、これまで一定の役割をはたして来たので廃止はしないと明言。



3月15日で廃止となった定期観光バス

町がこの議会の大胆とも言える提案を真摯に受け止め、一日もはやく実現に向けて動くよう、今後も訴えていかなくてはなりません。

## 平成22年度 八丈町会計別予算一覧

| 会計            | 21年度       | 22年度       | 増減        |
|---------------|------------|------------|-----------|
| 一般会計          | 6,906,836  | 8,488,538  | 1,581,702 |
| 特別会計          | 2,373,451  | 2,217,548  | △155,903  |
| 用品会計          | 3,475      | 3,464      | △11       |
| 老人保健医療特別会計    | 4,000      | 1,000      | △3,000    |
| 介護保険特別会計      | 773,380    | 767,766    | △5,614    |
| 後期高齢者医療特別会計   | 148,245    | 151,687    | 3,442     |
| 国民健康保険特別会計    | 1,444,351  | 1,293,631  | △150,720  |
| 公営企業会計        | 2,701,640  | 2,826,089  | 124,449   |
| 水道事業会計        | 819,634    | 894,003    | 74,369    |
| 一般旅客自動車運送事業会計 | 139,766    | 144,608    | 4,842     |
| 病院事業会計        | 1,742,240  | 1,787,478  | 45,238    |
| 合計            | 11,981,927 | 13,532,175 | 1,550,248 |

(単位：千円)



## 議会、町営住宅の移転先変更をせまる

「原山団地」の建設場所をめくって議論に。当初の予定地は、八重根港近くのホテル隣接地でしたが、利便性や台風通過時の被害も懸念され、住宅地として適地なのか疑問だと指摘。また現在、ゴルフ場として住民に利用されている状況も踏まえるべきとの意見も。町長は、この場所は現状のままとし、あらたな町有地に住宅建設することを了承。あらたな建設予定地は神止山近くに決まり、ゴルフ場とし



現在の原山団地

て利用されていた場所については、今後利用のあり方について検討していくことになりました。住民の声が議会に届き、それを町が了承して実現した今回の決定でした。

### 2月臨時議会主な議決事項

2月1日第一回八丈町議会臨時会が開催されました

- 専決処分事項の報告及び承認について（平成21年度八丈町一般会計補正予算ほか）

### 3月議会主な議決事項

- 八丈町立保育園（仮称）建設工事請負契約 ほか契約2件
- 八丈町南原スポーツ公園野球場造成工事請負契約の変更について
- 東京都後期高齢者医療広域連合総裁費の事務の受託について
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約
- 平成21年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算14件
- 町道の路線の廃止について
- 町道の路線の認定について
- 平成22年度八丈町一般会計予算 ほか予算7件
- 八丈町給水条例の一部を改正する条例
- 八丈町立小中学校職員の旅費支給条例 ほか条例設置3件
- 八丈町職員懲戒審査委員会及び補充員の任命の同意について ほか人事案件1件
- 権利（債権）の放棄について
- 損害賠償額の決定について
- 八丈町基本構想について
- 八丈町辺地総合整備計画の策定について



# 一般質問

## 町立病院における白内障手術実現に向け、機材の整備を求める

**答** 一般会計からの繰入金で成り立っている現状では実現は難しい



山下松邦 議員

◆所要時間 9分

**質問** ①今まで町立八丈病院で白内障と診断された人は何人いるか。②機材の購入ができない場合、リースは検討できないか。また、リースにかかる費用に対し、都からの補助はないか。

**答** 福田 高峰 病院事務長  
①平成17年1月から現在ま

で1071人が白内障と診断され、1年間で平均200人が新たに白内障と推計されて、その内77人(38.8%)が眼内レンズを入れる白内障手術を実施している。②導入費用については、5年間のリース総額で5481万円となり、一般会計から今年度は3億5千万円の繰入で成り立つ

ている現在、リースによる機器導入は病院の厳しい財政上難しいものと思われる。

## 大坂トンネル展望台に公衆トイレの設置を

**答** 水道が整備されていないのですぐに設置できない

**質問** 大坂トンネル展望台付近には公衆トイレがない。駐車場付近では悪臭がするので公衆トイレを設置していくべきではないか。



大坂トンネル展望台

**答** 小川 一 産業観光課長  
その場所には上水道が設置されておらず、メンテナンス等困難が予想され、非常に厳しいと考えている。それらが全てクリアされた場合「東京都多摩・島しょ地域観光施設整備等補助金」の制度を活用し、設置に向けて検討したい。

## 八丈町基本構想・基本計画の達成度を問う

**答** 達成度は事業により異なるが努力している



菊池綾子 議員

◆所要時間 34分

**質問** 八丈町基本構想・基本計画の達成度を問う。

**答** 菊池良企画財政課主幹  
基本構想は10年間の長期計画を策定し、その構想に基づき5カ年で取り組む事業を基本計画で具体化する。この

事業計画は企画財政課と事業化にむけて予算調整を行い、予算化できるものが3カ年事業計画に反映され事業開始となる。  
基本計画の進捗状況は、八丈町総合開発審議会に諮問するにあたり資料として添付し

ており、審議会は計画の進捗状況を総括した上で答申している。

## 情報のセキュリティ管理はきちんとされているか

**答** 担当以外の職員は、住民の個人情報にアクセスできない体制をとっている

**質問** ①住民の個人情報管理はどのようになされているか

るか。②情報技術の進化に対応した職員研修は十分に行われているか。③町で職員が使用しているパソコンの情報管理について罰則規定などを設け、研修などを通し管理の徹底はなされているか。④個人情報の管理業務は、業者委託をせず、町が全責任を持つて行うべきと考えるが、現状と方針を示せ。

**答** 菊池良企画財政課主幹  
①住民の電子情報は企画情



報系の職員が管理しており、担当職員以外はアクセスはできないようになっていいる。②町は(財) 地方自治情報センターに加入しており、情報化対応の相談や職員の研修も受けられる体制である。③職員の手元のパソコンに「八丈町電子情報セキュリティ基

準」が入っており、職員がそれを確認し対応することになっており罰則規定もある。④現在も町が管理している。すべてを個々のパソコンや媒体に物理的に保存ができないようにし、新庁舎移転後は電算室のサーバーで一括管理する方法を検討している。



町電算室にあるサーバー

### 今後の町の財政の見通しは

**答** 負担金・補助金等を大幅に削減し、支出抑制に努めた

**質問** ①各種団体の補助金がほぼ10%削減されたが、総額でいくらの削減となった

額と残高、年度ごとの返済額及び返済の見通しを示せ。

**答** 佐々木眞理 企画財政課長

①負担金・補助金の合計は5億9000万9千円となり、昨年度は6億1522万8千円、差引き2513万9千円の減となった。国や都の補助を受けながら、各団体へ出しているものも含めて2000万円以上削減した。

特別職の給料や議員の報酬の見直しについては、現在「八丈町特別職報酬等審議会」に諮り、検討を進めている。

②、町民の所得を増や少しでも多くの税金を納めていただけるよう施策を推進していく必要がある。また、③行政改革の一環として策定した「八丈町集中改革プラン」に沿って進めた取り組みがある。大きなものを挙げると、定員管理、人事院勧告に基づいた給与面での改定、特殊勤務手当の見直し等行なっている。また、21年度から始まった給食センターの民間委託もその一つである。実務的な取組として、旅費は

最小の日程及び人員を把握し支出を抑制している。また、需用費面では、冷暖房の温度の適正化、照明のスイッチオフの励行などに取り組んでいる。

④地方債を起すことができる経費は法律により定められており、返済のための起債はできない。来年度以降の起債額は毎年ローリングしながら策定しており、3ヶ年間の八丈町事業計画から算出し、利率・償還期限を21年度と同条件として算出している。残高は平成25年度末77億7400万円、平成26年度末75億7500万円を予測している。また、返済金額は平成25年度元金・利子合わせて5億8600万円・利子1億400万円、平成26年度元金6億3900万円・利子1億円である。なお、27年度以降は起債額が反映されていない関係で、具体的な数値は示せない。



ふれあい牧場を観光牧場と位置づけて振興策を

**答** 観光客に喜ばれるよう整備をすすめていく



奥山 幸子 議員

◆所要時間 36分

**質問**

ふれあい牧場は、牛とのふれあいがないこと、休憩所の展示・販売が貧弱なこと、クリーンエネルギーをアピールすべき風力発電が機能していないことなど、牧場を活用できていない。畜産が低迷している今、育成牧場の役割を維持しながら観光客の期待にこたえる施策を実現するために、ふれあい牧場を整備しながら観光振興に活かすべきだ。

具体的には、①ジャージ1種を展示用に放牧すること  
②「乗牛観光」牛の背に鞍をかけ人を乗せる観光でふれあいを強調  
③休憩舎の有人経営を提案するが、できない理由を見つけないのではなく、どうしたらできるかを町は考えてほしい。

**答** 小川 一 産業観光課長

「自然公園法の特別地域」の枠内で制限はあるが、観光

客の意見や現状を精査しながら、自然や牛とのふれあいを通じて喜んでいただけるよう整備をすすめたと思う。牛に人を乗せるには牛の調教など、ハードルは高い。ジャージを入れることは可能でも、管理や事業主体など、解決すべき課題は多いと考えている。

黄八丈を観光に活かす

**答** イベント時に着用しPRしている

**質問** 伝統ある黄八丈はその価値が認められながら、販売量は伸び悩んでいる。黄八丈に対する関心呼び起こし消費を促すためには、観光客の目に触れる機会を増やし住民が着る機会を増やす必要がある。具体的には①住民が着る機会を増やす②町所

有の11着の着物を観光客に気軽に着てもらえる方法を考えるべき③組合への補助金は今年度の見直しで減額されているので、後継者を育成するには増額が必要。以上を提案するが、町の考えを問う。

**答** 小川 一 産業観光課長

①の住民が着る機会を増やすことについては、イベント時に婦人会などが中心となり観光客にアピールしている。今後どのような方法でアピールすればいいのか、黄八丈組合とも相談しながら検討していく。後継者育成については、人材育成、研修視察を実施しており、PRについては展示販売、広告宣伝を行わないながら振興に努めている。補助金については財政難の折、しばらくは辛抱してほしい。

産業振興策として農産物の加工施設を

**答** 受け皿となる組織づくりを検討していく

**質問** 地産地消が注目さ

れる中で、島の農作物の島内販売は一部にすぎない。これを加工して付加価値をつけられ「島外」に輸出できる。たとえば空き家などを利用して、農産物加工施設をつくり産業振興をはかるべきだ。あらたな商品開発と土産物の島内生産を進めるためにも加工場が必要だと思う。実現の必要性を認める姿勢は感じられるが、実現に向けてどのようなプログラムをつくるのか、町は方向性を打ち出してほしい。漁協女性部の活動を参考にすれば具体案はでるはずだ。

**答** 小川 一 産業観光課長

趣旨には賛成だが、空き家の利用については改修費用や管理面で課題が多いと予想される。漁協女性部による水産物加工の成功には時間がかかっており、加工する主体と内容を具体的に示して、受け皿となる組織をつくる必要がある。漁協女性部の経過を参考にしながら前向きに検討していきたい。



## 生活排水事業のために新設する「係」について

**答** 浄化槽推進係は4名体制で



菊池 陸男 議員

◆所要時間 60分

### 質問

①新設する係の所管課と職員数は。②汚泥再処理センターの運営は直営か、委託か、PFIか。ランニングコストと現場で必要な人数は。③歳入・歳出はどのようなか。④住民にはどのような負担が発生するのか金額を示せ。

### 答

菊池良企画財政課主幹  
①所管課は企画財政課で職員数4名。係長1名、主任1名、主事2名の構成となる。②委託化を検討しており、ランニングコストは概算で約1億円、従業者数は4名をみている。③市町村設置型の合併処理浄化槽の整備計画が確定しだい議会に報告する。④様々な状況を考慮し慎重に決めなければならぬので、しばらくの検討期間をいただきたい。

### 島ぐるみで航空路線安定維持の取り組みを

**答** 搭乗率アップにつながる施策を検討していく

### 質問

搭乗率アップの方向性を探るには、全日空、航空評論家などを招いて、パネルディスカッションを行い、情勢を分析し、住民、業界、行政、議会が危機意識を持ち意見の共有をはかるべきではないか。

### 答

佐々木眞理 企画財政課長  
収益性の高い路線に集中し不採算路線は切り捨てという方針で進められていることは、大変厳しい状況であると考えている。このような背景の中で、全国的に地方路線の公共性をどう維持するかが大きな課題となっており、特に離島航空路線は、生活路線と



八丈島空港を離陸する全日空機。利用者を増やしていくことが重要

して維持しなければならず、国の運航費補助制度が設けられている。都では年1回、東京都離島航空路線協議会を開催しており、国土交通省、全日空、新中央航空と島嶼町村長が出席し、意見交換をおこなっている。パネルディスカッションについては現在のところ考えていない。町としては全日空へ運賃の要望を継続していくほか、連携して需要喚起につながる施策を検討していく。また、住民の皆様には、広報やホームページ等を通して、搭乗率や町の取り組みを知らせる。



**施政方針に見る政治姿勢と町政の展望について**

**答** 町の行政に政権交代の影響はない

**質問** ①政権交代をどうみるか。②町政の政策課題に潮目の変化・変わり目をつけるべし!

この先5年、10年の中長期的な財政フレームを作成し、各数値を明らかにした上で町の財政の所見を問う。

国は「コンクリートから人へ」と大きく政治を切り換えようとしている。町も変わり目をつける必要があると思うが、そういう認識はあるか。

③セーフティネットを張り、弱者に配慮した町政の実現を!

昨年12月議会で請願が採択されたが、高齢者サービスの施策をどのように実現するか。

国民健康保険法にも一部負担金、減免制度は保証されており、町でも条例化されている。この自主減免制度を運用した生活困窮者への実効ある

対応を図るべきではないか。

**答** 佐々木眞理 企画財政課長

①昨年の総選挙では、マニフェストが国民の支持を受けて政権交代となり、町民への直接的な利益も大きく、順調に進めば期待している。施政方針で触れた、子ども手当は、再来年度以降に関しては、国の税収も落ち込み、「満額支給」にも見通しが立っておらず、地方負担も増えるのではと不安を拭いきれない。また、地方交付税は増額。算定方法も変更され、財政力の弱い団体への配慮等があるという説明で、期待も大きいところだが、具体的な方法はまだない。公共事業に係る事務費の補助金も全廃となり、町へもその影響が大きく出ている。町長は、産業振興、交通基盤の整備、医療・福祉の確保に国の支援を要望しているが、事務方からは全く回答がなされないという状況。安心のおけないところもある。

都は、緊急雇用対策、子育て環境の充実、地域産業の活性化、校庭芝生化、国施設の整備等に取り組む。

②区市町村の振興策で総

合交付金が前年度比10億円の増と財政のきびしい市町村への支援も図られている。

この先5年間の一般会計

の財政フレームを作成している。なお、10年間の財政フレームは見通しが変わることがあり、作成していない。22年度、23年度は大規模事業により財政規模が大きくなると予測している。決算ベースで22年度96億円、23年度100億円、24年度66億円、25年度は前年並みという試算になり、これに伴い、地方債の発行額も多くなり、大規模事業が重なったことで投資的事業の伸び率が64・7%となっている。施設を活用して活性化を図るための施策を展開する上で必要な基盤整備と位置づけて実施する。

**答** 笹本 重喜 健康課長

③一点目、平成22年度に「高齢者ハンドブック」を作成し、高齢者全員に配布する。

二点目、介護サービス利用料の軽減、減免については、高齢者サービス等検討委員会の中でも、利用料の軽減を図るべきであるという方向で動いている。三点目、介護保険施

設の誘致について、非常に厳しい問題ととらえている。

**答** 山越 整 住民課長

国民健康保険法の一部負担金の減額や免除は、八丈町の国保では条例化されていない。税軽減の選択肢拡大も国保運営協議会の検討事項として考えている。

社会福祉法に定める「生活困窮者のために、無料または低額の診察を行う事業」(法第2条3項の9)の「無料低額診療事業」に取り組み考えはないか。

**答** 福田高峰 病院事務長

社会福祉法に定める「無料低額診療事業」は、経済的な理由で必要な医療を受ける機会を制限されることがないよう、医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業である。減免した医療費については、国や都の補填措置はなく、実施病院の持ち出しとなる。町立病院では、一般会計からの繰入金でなりたっている現在、赤字事業を実施するのは実質困難である。



## 現地確認不能地について

**答** 現地が特定できない限り町で対応できない



佐々木治議員

◆所要時間 19分

### 質問

①現在の町の体制下で土地の相続登記は不可能と思われるが、今後どのように対応するか。②前回の一般質問で現地が特定できないと課税していないという答弁であったが、国土調査以前より課税していた土地は現地が特定できていたのか。③評価証明の地積は実測とあっているか。④地方税法第381条第7項の規定によると、課税上支障がある場合は、それらについて解消する努力をしなければならぬとある。地番設定をしないのが課税上支障があるとすれば、今後、地番設定については積極的に行わなければならないと考えるが、町の今後の対応は。

**答** 和田 一宏 建設課主幹

①現地確認不能地の相続登記は、現地が特定できない限り、町で対応することはで

きない。②個人の不動産の所有権の問題であり、確かな証拠がない限り、町では対応できない。

**答** 伊勢崎孝久 税務課長

①土地の台帳はあるが、課税したかといった詳しい課税資料は保存しておらず分かりかねる。②評価証明は、土地課税台帳等の登記事項に基づき証明であり、地積と実測の関係について証明するものではない。実際と違うといった申出があった場合、現況調査を行い台帳等に反映させていく。

**質問** 仮に白地（地番不明地）を買収せよと議会が議決した場合、町はどのように対応していくか。

**答** 和田 一宏 建設課主幹

所有者が分からず白地にな



ついで、所有権保存登記がなされていない、所有者のいない土地で、議決があったとしても買収できないし、町が所有権保存の登記をすること

はできない。また、白地買収の議決をする想定自体が、全くあり得ないことだと考える。



# 行政視察レポート

期間  
平成22年  
1月26～28日

視察者  
佐々木 治  
山下 松邦  
山口 英治  
長戸 義郎  
菊池 陸男  
土屋 博  
小澤 一美  
伊勢崎和鶴  
沖山 宗春



## 沖縄県 宮古島市

宮古島市は、平成17年に1市3町1村の合併で誕生し、人口約5万5千人（平成21年3月）である。最高地が110で、平坦広大な島でありサトウキビ畑が一面に広がっており、酪農にも適した条件である。

### ◎農業

大消費地からの遠隔地のハンデの他に、干ばつと台風の自然災害と

の斗いの歴史があった。それに耐える唯一の作物がサトウキビであり、農業生産額124億円の中、54億円を占めトップである。

八丈島の自然に適した作目は、究極的にはロベとアシタバであると常々思っているが、共通した事情に感じ入った。

ジュネーブWTOの新多角的貿易交渉で、砂糖、畜産がはずされると、宮古島の農業は壊滅的打撃を受けるとの事である。

グローバルな要因の前には、離島の努力など大海の木の葉のようなものであり、八丈島も諸般の外因で、その様にならない事を祈るのみである。

畜産生産額は30億円であり、大規模な堆肥のリサイクルセンターが整備され、循環型農業が進んでいる。

### ◎地下ダム

宮古島はサンゴ礁地層の為、雨はすぐ浸透し地下水になる。そこで「水無し農業」からの脱却を図る為、国営土地改良事業で地下ダムを作り、

畑地かんがいを行っている。帯水層にたまった地下水脈に遮水壁をつくり、水を蓄えるという話に驚いた。農業の用水の安定供給がなされ、サトウキビ、葉タバコの他にゴーヤや

熱帯果樹の生産が可能になった。

### ◎エコアイランド宣言

平成20年8月に「エコアイランド宣言」をし、地下水保全、堆肥化、太陽光、風力発電、サトウキビ副産物からのバイオマス燃料の創出にも取り組んでいる。

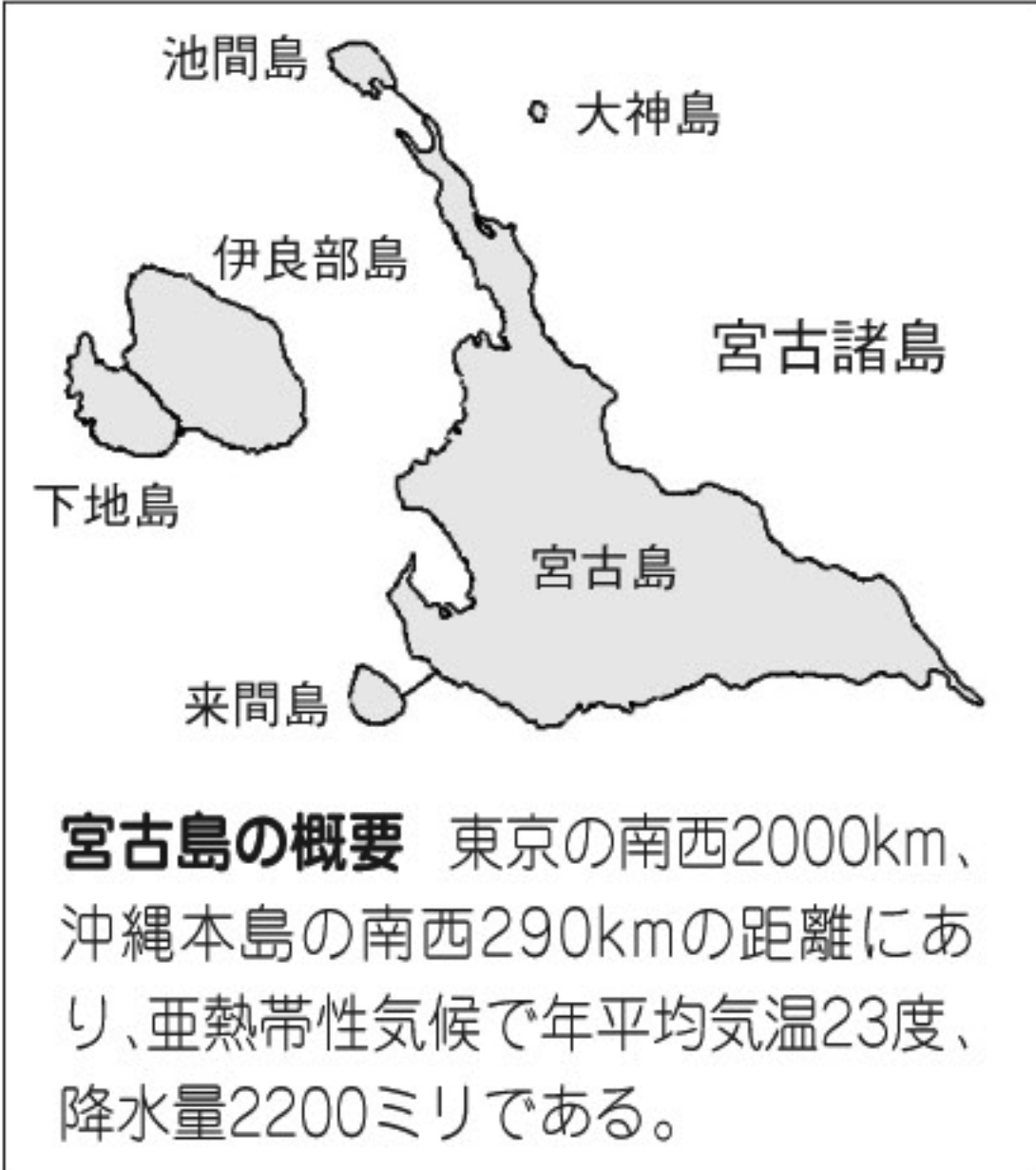
観光の入り込み客37万5千人で安定しているという。

### ◎おわりに

宮古島の人口や面積は八丈よりはるかに規模が大きいが、思いつきや、場当たりのではなく、それぞれの施策に関連性と創造性が調和した理念があり、成長目標が数値化されている。

八丈の未来像を描く上で大いに参考にしたい。

報告者 菊池陸男



**宮古島の概要** 東京の南西2000km、沖縄本島の南西290kmの距離にあり、亜熱帯性気候で年平均気温23度、降水量2200ミリである。



宮古島市役所にて



# 本会議の質疑から

## 保育士の減員は

菊池睦男議員

坂上の保育園は統合するが、保育士は減員するのか。

緒の入り口は利用しにくい。改善する考えはないか。

奥山博文議員

トイレが良くないと観光地としてのイメージダウンも懸念される。

厳しい財政状況ではあるが、改修はできないか。

住民課長 減員はしない。坂上で行われていなかった年齢別保育を実施するに当たり、一つのクラスに保育士は一人ずつ配置する。

## 末吉の一戸建て住宅

菊池睦男議員

長く空き家になっていた末吉の町営一戸建住宅の募集がないが、入居したのか。

教育長 建物の全体的な耐震問題もあるので現時点では改修はできないが、男女別々という要望を受け、2ヶ所のトイレのうち、入り口付近を男性用、奥を女性用と表示し使用することにした。

## 看護師の有資格者へ呼びかけを

奥山博文議員

町は現在、看護師の確保に人材派遣会社を利用しているが、現在の募集状況は。また広報等で募集し、島内に住む有資格者を把握していくことも必要ではないか。

## 歴史民俗資料館のトイレ

奥山幸子議員

資料館のトイレは、男女一

病院事務長 町のホームページ

## 戦争遺跡の保存を

奥山幸子議員

3年前戦争遺跡の保存をお願いしたが、莫大な予算がかかるため手が付けられないとの回答であった。戦争遺跡は鉄壁山、回天などがあるが、中には三重構造になる貴重で大規模なものがあるが、このままだと朽ち果ててしまう感じがする。平和教育のために、入口部分だけでも整備するように、文化財専門委員会へかけていただきたい。

教育課長 確かにどの戦争遺跡も整備は必要だと思うが、末吉に限っては民有地ということもあり難しい。鉄壁山の入口の整備は検討したい。

## 冬山体験学習の内容は



山口英治議員

大きく流れが変わろうとしている中で、八丈町においては、従来通りに見受けられるが考え方を問う。

教育課長 今回の冬山体験学習の計画には、体育の授業としてスキー教室、総合学習として和紙作り、家庭科としておやき作りを行う。

## 学力テストにおける都内の格差は

菊池綾子議員

学力テストの八丈島の現状は。また、子供の不登校、町の現状とその対策は。

教育長 学力調査は全国の学力調査と東京都と年2回実施している。21度の東京都の小学校4年生の調査で、算数や国語では4ポイント〜5ポイント平均より低い。中学生の場合では、数学、国語で5ポイント〜12ポイント平均より低くなっている。

冬山体験学習事業補助として200万円弱の予算を組んでいるが、国では授業日数の確保、教育レベルの向上へ



い、児童生徒、保護者、教員からの相談も受けている。

### 屋内運動場の建設は



奥山博文議員

国体に向け野球場建設を進めているが、将来、島外の団体をキャンプ等に誘致する場合同、室内練習場が絶対必要になると思うが、国体が終了した後、どのように考えているか。

産鑑定士が何年か置きに評価していると思うが、実情を把握して評価しているのか。

**税務課長** 固定資産評価鑑定士を委託し評価している。八丈町にある固定資産の標準値をもとに評価しており、町の取引等は全て調べて鑑定評価の参考になっている。八丈町の場合、新しく道路が出来ると評価は上がるが、全体的に動きはない。また、評価替えは去年行っている。

### システムの導入について

田村六郎議員

戸籍のデータ、e-TAX、ポータルサイト、IT関係で経費が膨大になっている。導入するとき職員の基本的知識があまりないと思うが。

**企画財政課長** IT関係の経費が伸びている中、業者から見積もりには明細を出させている。削減できるところは交渉して契約をしている。

**住基システムの導入は、数社から提案されたものの中から、町の体制に最適なものを選定している。**

### e-TAXの利用者は

菊池綾子議員

e-TAXにこんなに掛かっているのかとびっくりしたが、現在八丈町でどれくらいの人を使用しているか。

**税務課長** 利用者が10名いくかどうか定かでない。23年度から確定申告に関するデータは国からデータ化されたものをe-TAXと連携してやる。

### 農道整備の推進を



土屋博議員

**土屋博議員** 切り葉は良質なものの生産が伸びている中、小規模農道の予算を減額するのはおかしいのではないか。

**副町長** 継続するつもりだが、12月の時点で財源が不足しており、追加では2路線ぐらいしか出来ないと思う。

### フリージアを町中で見られるように

奥山博文議員

フリージアは昔と違い切花が中心になり、昔の球根栽培時代のように町中で花が見れなくなった。まつり期間中に島内のいたるところで花がもつと見れるようにできないか。

**産業観光課長** 観光客からもよく問い合わせがある。現状ではプランターを設置してPRをしているが、今よりいいものをつくっていきたい。

### 黄八丈の振興策は

土屋博議員

黄八丈は18万円減額されている。黄八丈は二次産業では基幹産業であり、18万円の減額は元に戻すべきで、PR費もなく6月補正で考えてほしいが。

**奥山幸子議員** 島外の女性が織り子になりたいという問い合わせに対して、環境が整っていないため断った経緯もある。一人でも多く就業者を増やし定着する

よう力を入れてほしい。

副町長

新しい事業展開があれば増額も可能である。

### 東里のプラザ公園とは

菊池睦男議員

東里のプラザ公園、総合開発審議会都市計画に提案しなければいけないという事で議論は合ったと思うが、その時は決定ではなく、都市計画として整備をしたいというような話だと思ったが、それが決定された全容の説明を。

**建設課長** 農村公園では出来ないという結論が出て、都市公園に計画を変更した。昨年度3回東京都都市計画審議会で審議をし、今年1月に決定した。実施になると建設局の所管となり、補助金で平成22年度に設計をする予定。  
**内容として、**キャンプ場の整備、既存の森の保存、子供広場、遊歩道、植樹帯、トイレ、駐車場、雨が降ったときに滝等が見られるよう計画している。

### 固定資産の評価は

田村六郎議員

八丈の土地が全く売れないなか、不動産の実質価格は下がっている。町の固定資産の評価は変化がないが、固定資



八丈島子ども文庫連絡会主催の第24回文庫まつりが15日、大賀郷公民館で開かれた。絵本作家の「のぶみ」さんによる『ワークショップ』では、ホールいっぱいの大きな紙に絵を描いて、最後にはその紙をみんなでビリビリに破くというアクティブな遊びに子どもたちも大興奮。本を読まない若い人が増えているが、こうした催しを通して、子どもたちと絵本の距離がグンと縮まってほしい。



6月は定例会が  
開かれます。  
皆さまの傍聴を  
お待ちしております。

## 編|集|後|記

バブル時代の日本。税収は右肩上がりで伸び、予算の大判振る舞いが繰り返され、強い円と強い企業が問題になった。今、日本は低成長とデフレに苦しみ、日本の財政は先進国で最悪の状況。世界が急速にグローバル化する中、競争激化で日本企業は苦戦を強いられている。にもかかわらず、戦略なき本年度予算では借金の積上げで家計や農家に気前よくお金がバラまかれそうだ。

これまで、一般的に馴染みがなかった財政問題が、家庭の問題に上がるようになったのは、4年前の夕張市の財政再建団体への転落からだろう。チェック機能が欠落した議会、不正を

黙認した北海道、赤字隠しが簡単な財政制度、いろいろあるが夕張予備軍が数多く続いている状況に、財政の悪化はいつかそのツケが自分の子どもたちに回ることを国民が実感しているからだろう。

八丈町も今後3年間は、35億円の新庁舎をはじめ大型公共事業が目白押し。机上の計算では、今後も町財政は健全だそうだが、施設ができれば管理費、補修費は膨らむ。水道の値上げ、国保、介護等々住民の負担もいろいろ増えていきそうだ。

町が日本国にならないよう頑張らねば。

(R)

発行人 八丈町議会議長 沖山宗春  
編集 議会だより編集委員会  
委員 佐々木治 奥山幸子  
田村六郎